

令和元年度 小山町立すがぬま園評価「自己評価書」

1 教育目標

『のびのびあそぶ げんきな子』

自主性、豊かな感性、健やかな心身を持った子どもを育成する

2 重点目標及び具現の方策

- ・手作り玩具、伝承遊びを大切にする。
- ・音楽や絵本にたくさん触れ、情緒を豊かにする。
- ・体験を通し、年齢に合った課題を考え、思いやりを育てたり、挑戦や失敗をしたりしながら成就感や達成感を味わう機会を設ける。
- ・周辺の自然に親しみ、地域の人たちと触れ合う。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
保育計画・教育課程	B	教育課程等の再確認	B	B
保育指導	B	発達や関わり方のカンファレンスの実施	B	B
保健管理・食事	A	引き続き取り組んで行く	B	A
安全管理	B	点検活動を徹底する	B	A
特別支援教育	B	困り感の共有を重ねていく	B	
組織運営・情報管理	C	マニュアル・苦情解決の手続きを職員全体で周知していきたい	C	A
研修	B	研修報告の充実をはかる	B	
教育目標・園目標	B	社会情報提供の機会をつくる	B	B
情報提供	B	情報提供の方法の検討	B	B
保護者・地域との連携	B	行事の在り方をマンネリ化にならないよう考える	B	B
子育て支援	B	連絡帳等保護者の求めていることを捉えて支援	B	A
施設・設備	B	点検を徹底し、定期的に実施する 楽しさを感じる保育・室内環境の実現	B	B

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」

2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。

3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。

4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
園内研修、職員会議の持ち方	・年間を通して日程を決め実施する。 ・少人数で行っていく ・職員が発言できるよう内容を明確にする。進行を持ち回りで行う。
マニュアルの周知 楽しい環境作り	・年度当初に取り組んで行く。 ・参考文献を活用したり、職員間で提案をしたりして取り組む。

5 評価全体を通して

- ▼ 情報提供の中で、今日の一枚の（保育の様子を掲示）継続が難しくなっている。ホワイトボードもあるので大変か…検討していく。
- ▼ 行事担当制にして職員皆で取り組んで行く事で、経験が積まれ学びとなる。
- ▼ 保護者アンケートを手渡しせず、投票箱等設置した方が本心が聞ける。各園と相談する。
- ▼ 「職員のメンタルヘルスに関するマネジメントが行われていない印象を受ける」事が保護者アンケートに記載された→行政も相談の窓口を設けていることや、システム化に伴うスリム化を保護者に回答していく。
- ▼ 保護者アンケートについて分からない部分については、園便りでもお知らせしているが、わかり易く掲載したい。